

ささいな恐
怖)

芸能無惨簿 (実
話)



GIMA

2002年10月12日午後9時前。長野県塩尻市の河川敷で、乗用車が炎上しているのを通行人が発見、通報した。車から約10メートル離れた場所でAV女優桃井望（本名・渡辺芳美）（24）が、車内後部座席から桃井さんの元交際相手で内装会社の男性会社員（24）＝同市＝が発見された。

後部座席の男性遺体は性別が判断できないほど激しく焼け、ほとんど骨になっていた。

桃井も衣服がほとんど焼けた状態で、下半身が焼けこげていたが、刃物で刺された傷が数カ所あり、これが致命傷になったようだ。「妹系」で人気のあったAV女優の猟奇的な死に、ファンたちは騒然となった。

同時に、AV業界の「闇」を改めて知ることにもなった。

GIMA付記：下記は2007年1月24日の報道より。

死んだ男性は自殺であったとして、保険金を支払わない住友生命保険を相手取って、約3500万円の保険金の支払いを求めた訴訟の判決が2007年1月23日、長野地裁飯田支部であった。

松田浩養裁判長は「第三者である何者かに殺害されたと考えるのが自然。他殺であると認められる」と述べ、全額の支払いを命じた。

言うまでもなく保険金訴訟は民事の裁判である。しかしながらこの判決が捜査に少なからず影響を与えるであろうことは、想像に難くない。ちなみに、今回の報道では女性側——すなわち桃井望——の情報は東京都中野区在住の会社員、渡辺芳美さん（24）となっていた。死んだあととまで、AV女優であったことをさらされるのも迷惑な話だろうし、それでいい。

1999年3月22日夜、大阪市天王寺区のホテル「ニューヨーク」の客室で元AV女優里中まりあ（本名・桑畑由起子）（22）の射殺体が発見された。

彼女は顔の正面から1発撃たれており、現場には短銃1丁と薬きょう1個が残されていた。

里中まりあは暴力団関係者との交際歴があり、事件の3日前に自宅マンションで暴行を受け車で連れ去られていたことがわかった。遺体に着衣の乱れはなく、連れの男性と口論になり殺されたらしい。

同年4月17日、大阪府警天王寺署捜査本部は、指定暴力団山口組系組員、寺田幸雄容疑者(50)が大阪府堺市内のホテルに潜んでいるところを発見、逮捕した。

G I M A 注

この事件、実はわたし的には感慨深いものがある。

いや、別に被害者と知り合いだったとかファンだったとかいうんじゃないくて。

当時私が住んでいたアパートから、事件が起こったホテルが見えるのである。

新聞か何かで事件を知ったとき、思わずホテルのある方向を向いて、「あそこでそんなことがあったのかあ」……と思ったものだ。

1986年4月8日午前9時過ぎ、東京都港区南青山6丁目にある南青山ロータリーマンションの402号室で、若い女性が手首を切り、ガス自殺を図っているのを、マンション管理人と6階の住民が発見した。

女性の名は岡田有希子（本名・佐藤佳代）。

幸いなことに発見が早かったため自殺は未遂に終わり、連絡を受けた所属プロダクションのサンミュージックは彼女が搬送された病院へ向かった。

手首の傷は浅かったため、病院の医師は治療を施した後、彼女に精神安定剤を与え、即時退院させた。

サンミュージック総務部の福田時雄専務、付き人の山崎結美は有希子をタクシーに乗せ、四谷のサンミュージック本社へ向かった。

3人は社長室に入ったが、専務や付き人たちが連絡に奔走して有希子から目を離したほんの一瞬の間に、有希子は社長室から姿を消した。

同日昼過ぎ、サンミュージック本社屋上から人が落ちてゆくのが目撃された。

玄関前にうつぶせに倒れている人物の頭部から流れた血が、アスファルトの道路上を流れていた。

ピンク色をした脳髓が、道路上に散らばっていた。

その写真が当時の写真週刊誌に載り、現在、ネット上でも流れている。

「あこがれていたのに、最近冷たくされて悲しい。勝手なこととしてすみません」（遺書より）

岡田有希子、享年18。

1958年4月1日午後6時半頃、旧宝塚劇場で行われていた花組4月公演「宝塚春のおどり・花の中の子供たち」の公演中、月組の香月弘美が死亡した。

せり出し装置——舞台下から出てきたり、逆に舞台下に消えてゆく仕掛け——のシャフトに彼女が着ていた衣装の裾がはさまれ、スカートを広げるために衣装に仕込まれていた薄い鋼のベルトによって胴体を切断されたのだ。

ご存じの方も多いとは思いますが、せり出し装置の動く速度は、それほど速いものではない。

その、じわじわとしたスピードで死につつある恐怖は、尋常の物ではなかったであろう。

鮮血に染まりながらゆっくりと胴体が切断されてゆく様を、ただ黙って見ていることしかできなかった相手役・松嶋三那子はショックで数日間失踪したという。

皮肉なことにこの日の香月は「代役」であった。風邪をこじらせた同期生（日夏友里）に休演を勧め、その代わりに自ら買って出ていたのだ。

「オーメン2」「ダイハード3」で、似たようなシーンはあるが、いずれもその死は一瞬の出来事である。強いてあげれば「サスペリア2」におけるラストシーンが、香月の場合に近いだろうか。